

和光の緑と湧き水だより Verda 125号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2013年3月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
 身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>
 会の活動スケジュール表(予定の所は変更もあります。問合せ下さい) (048-462-9912 高橋)

25年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園、白子川
3月	日本生態学会7日 口頭発表	23日 竹切り 間伐	8日富沢湧水 21日大坂ふれあいの森	21日ヒロハアマネ 保全(予定です)
4月	3日 お茶の水女子大学フ ィールド授業	20日 竹林、貴重 種、斜面林保全、 27日 観察会	4日 富沢湧水保全 18日大坂ふれあいの森	5月18日(13時~) 体育館会議室で総 会の予定です

1. 新倉ふれあいの森保全・観察・新年会開催 2013年1月19日



● 新倉ふれあいの森の定例保全に加えて、日本自然保護協会元事務局長開発法子さんとトトロの森常務理事対馬良一さんをお迎えして、ふれあいの森観察会と新年会を開きました。

和光に残る素晴らしい自然環境観察後、昼食を食べながらの交流会、和やかな中に、森の保全に関する様々な情報が飛び交い、有意義な会となりました。前列左開発さん、中央ご主人様、4番目対馬さんです。ご参加下さり有難うございました。

(都市整備課の上原さん撮影)



2. 南西部地域交流まつり「湧き水サミット」 2月3日

●川越街道沿いには、武蔵野台地の末端部に特徴的な湧き水が3か所あります。和光の白子湧水群、新座の妙音沢、富士見の湧き水群を、交流まつりで紹介する「湧き水サミット」を開催しました。場所は、鶴瀬西交流センター3階のホール。台地末端部の湧き水の仕組みを解りやすく画像で解き明かす講演が始まると、多くの参加者が訪れ、熱心に、静かに聞き入っていました。地域の大切な自然、そこには様々な水にまつわる歴史が秘められています。地域の宝として保全活動も行われています。今回のテーマを決めて行われた事業、大変有意義なものとなりました。



3. 白子大坂ふれあいの森の会主催 2月12日 和光の身近な自然「大坂ふれあいの森」セミナー



●和光市協働事業「大坂ふれあいの森の保全と活用」の中でセミナーを開催、多くの参加があり盛況な中、熱心な討議が行われました。堀文雄会長の挨拶で始まり、前半



の講演は、白子湧水群の調査と保全活動によるふれあいの森の成立、今年度行われた植生再調査について。後半は、再調査の考察と明治の測量地図から解き明かした考察など、新しい方法で緑地の過去から現在までを学び、豊富な内容のセミナーとなりました。その後新ガイドマップの紹介と見学会を行い、富沢湧水、大坂ふれあいの森を案内しました。地域にも根ざした活動となってきました。